

平成 2 3 年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

1 項 教育総務費

教育センター（電話：0857-28-2321）

8 目 教育センター費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正後	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
（新）若手教員授業力向上ゼミナール	0	6,056	6,056				6,056	
トータルコスト	0	11,648	11,648	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.0人	0.7人	0.7人	教職員研修の実施				
工程表の施策目標(指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の評価を生かした研修の実施と見直し（80パーセント以上） ・研修効果システムの運用 							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>教員の教科の専門的知識を基盤とした実践的指導力の向上を図る研修を通して、若手教員の授業力向上を図る。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 実施期間	平成23年度～平成25年度							
(2) 研修期間	単年度開催（年間10日間程度実施）							
(3) 対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の教諭 ・2年次フォローアップ研修を終了し、教員経験10年未満の者 ・希望又は市町村教育委員会推薦者 							
(4) 実施教科	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の9教科の中で1年に3教科ずつ実施 1教科10名程度 小学校…国語、社会、算数、理科 中学校…国語、社会、数学、理科、英語 ・平成23年度：中学校英語、中学校数学、小学校算数 							
(5) 研修内容	<p>基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、それらを活用して、主体的に考え、判断し、表現する力や、主体的に学習する態度の育成を図る授業の展開をめざした研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論研修（学習指導要領と教科指導、学習指導案作成等、県内外大学教授等の指導による） ・授業研究（授業実践、先進校視察、エキスパート教員等の授業参観等） ※ 研修にあたっては異校種との連携も図りながら実施する。 ※ 各年度の受講者は、次年度も続いて教科の研修に努め、授業実践を行う。また、次年度に研修の成果の把握を行う。 							
3 事業費	6,056千円（研修講座講師謝金、旅費、テキスト、会場使用料ほか）							
4 これまでの取組状況、改善点								
<p>従来実施されている5年・10年経験者研修においては、悉皆により教科指導・学級経営・教育課題等について総合的なレベルアップを目指すことを目的としている。</p> <p>一方、数年後に迎えるベテラン教諭の大量退職及びそれに伴う若手教員の大量採用に対応するため、現在の若手教員の授業における指導力（授業力）向上を図る必要がある。</p> <p>このため、本研修では、教科の授業力に特化した研修を実施することにより、地域や県全体の教科指導の面で、近い将来中核的な役割を果たす教員を育成する。</p>								